

地域生活サポートセンターぴぼっと南光台



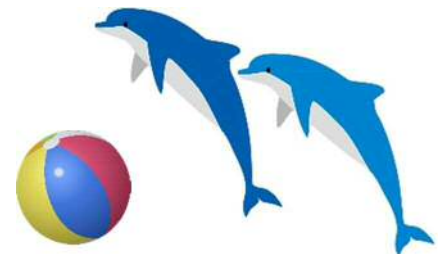
ぴぼっと南光台通信

発行日 2019年11月25日

第19号



東北福祉大学サークル「そら」の企画で、学生さんとレスパイト利用者さん、介護人で「仙台うみの杜水族館」へ行ってきました。何度行っても楽しい水族館。みんなでいったらもっと楽しい♡♪
学生さん、ありがとうございました。



発行： 社会福祉法人つどいの家 地域生活サポートセンター「ぴぼっと南光台」
責任者： 佐藤 秋男 (管理者)
住所： 〒981-8003 仙台市泉区南光台3丁目1-24
連絡先： TEL 022 (779) 7341 FAX 022 (779) 7342

感染症予防と利用時の注意についてのお願い



インフルエンザ等の感染症が流行する季節となってまいりました。事業所内でも手洗い・うがい・消毒等を行い、感染症予防に細心の注意をしながらサービス提供を行っております。各ご家庭でも帰宅時や食事前などに手洗い・うがい等を行い、少しでも感染症に罹患しないように努めていただけたらと思います。

また、当事業所では感染症に罹患してしまった場合には、サービス提供を停止させていただく場合もございます。以下の事項をご確認して頂き、ご協力をお願い致します。

○インフルエンザや感染性胃腸炎等の感染症と診断された場合には、感染拡大を防ぐため医師の許可があるまでサービスの提供を停止致します。(学校保健安全法に準じる期間)

また、ご家族で感染症に罹患された方がいる場合にも、ご利用をお控え頂く場合がございます。

※「ぺんたす」をご利用の方は、「重要事項説明書(別表1)」をご参照ください。

○サービス利用時に感染症等の症状が確認された場合、サービス提供を停止させて頂く場合がございます。あらかじめご了承下さい。

感染症に伴うサービス停止について詳しく知りたい場合は、事業所までご連絡頂けたらと思います。

また発熱や倦怠感など、いつもと様子が違うと感じた場合には、医療機関への早めの受診をお願いします。



当事業所では「うつらない」「うつさない」「持ち込まない」等の感染予防に努めてサービス提供をいたします。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

「そら」の皆さんと一緒に「うみの杜水族館」に行ってきました



9/22(日)に福祉大ボランティアサークル「そら」の皆さんと法人内のレスパイト利用者さんと一緒にうみの杜水族館に行ってきました。あいにくのお天気ではありましたが、連休中ということもあってたくさんの方でにぎわっておりました。すてっぴ・はうすからは当日ご利用いただいた3名の方が参加しました。キラキラした魚たちに囲まれながらみんなで記念撮影をしたり、屋外でのイルカのショーでは躍動感のあるイルカジャンプに笑顔が絶えない皆さんでした。職員ともども楽しい時間を一緒に過ごしました。



「そら」のメンバーの皆さんありがとうございました。

(すてっぴ：児玉)



子どもたちに無料又は低額で食事を提供し、安心して過ごせる場所づくりとして始まった子ども食堂は、現在全国に3700カ所展開されています。急速に広がった子ども食堂は、子ども、親、高齢者など対象を限定しない食堂や、子どもが放課後に自宅以外で過ごす居場所の中で食事を出している所もあります。自宅の一部を開放し少人数の所もあれば、地域の公民館を借りてにぎやかに開催している所と様々。月1～2回の開催でも手応えを感じると思います。



おいしいご飯を前にすると、どんな事情を抱えた人でも、思わず顔がほころびます。温かい食事を提供する趣旨に賛同した地域のボランティアを中心に、学生や地域外の人も加わります。食材は食品会社から自社商品の提供や農家から野菜の提供など、支援の輪がどんどん広がります。一方、助成金が十分得られないため、知恵を出し合っでの運営が求められ、寄付や募金に支えられているのです。

支援すべき子どもと接点を持つことが難しい現代だからこそ、子どもたちが遊び場に来て、ご飯を食べていくような気楽な感じが大事なのです。子どもが地域の大人と顔見知りになり「何かあれば力になるよ」という眼差しのもとで過ごし、専門家の支援へとつながることも少なくありません。

子どもの食事支援を目的に始まった子ども食堂ですが、子ども、親、若者から高齢者まで一緒に過ごす「地域交流の場」として、さらに子どもの「見守りの場」として機能しています。誰でも受け入れられる多世代交流で人々をつなぐ地域交流拠点の役割が期待されます。「集い」と「賑わい」、令和型コミュニティづくりのヒントがここにあると思います。

(管理者・佐藤秋)



ふれあいご縁日祭りに参加しました



10月26日(土)「ふれあいご縁日祭り」(南光台)に参加しました。前日が豪雨となり心配されましたが、当日は快晴のお祭り日和。“子どもも大人も一緒に楽しもう”ということで、ハロウィン衣装に身を包むお子さんの笑顔、楽しいステージに拍手が響きます。地域のお店や団体さんも揃い、私ども「ぴぼっと南光台」も出店。同法人のパン・菓子工房「めいぷる」(仙台つどいの家)のクッキーをご用意しました。以前、四条通りに喫茶「めいぷる」を営業しており、懐かしい方もいらしたことでしょう。ハロウィン風のかわいいクッキーですので、喜んでいただけたことと思います。

会場は、お子さんと親御さん、若者からご年配の方まで、多世代の方々がコミュニティセンターに集い、賑やかな地域交流の場となりました。南光台ふれあいまちづくり実行委員会の皆様ありがとうございました。

(管理者・佐藤秋)



職員随想 第2弾

ぺんたす 小野和彦



先日ヘルパーとして、60代の利用者さんとカラオケに行きました。利用者さんの歌う、昔懐かしい歌謡曲を聞き、当時のことを思い出すなどちょっと楽しい2時間を過ごしました。

その中でも、気になった曲をご紹介します。まず野口五郎の「私鉄沿線」。これはとても女々しい男の話しの歌でした。今これを歌ったら女性に嫌われそうです。それでも、当時の野口五郎といえば新御三家のひとりで、女性ファンが黄色い声援をおくっていたと思います。

次に小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」。当時その歌手がしおらしくその曲を歌うのを見て、子どもだった私も花嫁に対する憧れのようなものを抱いていたように思います。しかしその後、小柳ルミ子は、10歳以上年下の男性と結婚しますが、離婚し、いろいろ…あるのです。(なんか芸能リポーターみたいですね)

そして、ピンクレディーの「UFO」。この曲は大ヒットし、今でも知らない人はいないくらいですが、歌詞は意外と大人な内容となっていました。特に2番の歌詞は意味深だな～。

そして最後に、モーニング娘の「LOVE マシーン」。この曲で私は不覚にも目がうるうるしてしまいました。当時はバブル経済が崩壊してしばらく経ち、世の中が混迷している状況だったと思います。それでも彼女たちは映像の中で、バブルを彷彿とさせる衣装を身にまとい、明るく元気に踊りながら『ニッポンの未来は♪ウオウ ウオウ ウオウ ウオウ♪』と、やるのです。その後リーマンショックがやって来るのも知らずに……。

と、いうことで、変な感じになってしまいましたが、昔を懐かしむ時間を過ごした私は、その後利用者さんの明日の未来を考えながらヘルプを終えるのでした。

ぴぼっと南光台「三丁目市」 (バザー) 開催報告☆彡



去る9月27日(金)、昨年に引き続き、バザーを開催しました。

前日まではっきりしない天気が続いていましたが、当日は見事な秋晴れに恵まれ、開始時間前から大勢のお客様が来てくださいました。



会場では、地域の方々に提供していただいたバザー品が所狭しと並べられた他、鶴ヶ谷で生活介護と就労B型の事業所を運営されている「ホープすずかけ」さんがコーヒーとがんづきを、いつもサロンをご利用いただいている「こぎん部」さんがこぎん刺しの作品、すてっぷ・はうす「介護人の森さん」が自作のヘアピンを販売して下さりお客様に大変ご好評をいただきました。

また、屋外に設置したテントとソファのカフェスペースでは、買い物の合間に休憩をしてリラックスされているお客様の姿も見られ、和やかな雰囲気にも包まれた一日となりました。初めて「ぴぼっと南光台」を訪れたと言うお客様にも多数おいでいただきました。市外から足を運んでいただいた方もいらっしゃいました。皆様、ありがとうございました。

ぴぼっと南光台「三丁目市」は、地域の方々との交流を目的としています。今回も、バザー品を提供していただいた大勢の方々や、告知ポスターを掲示して頂いた地域のお店の方々のご協力のおかげで、無事に開催する事ができました。

今後とも南光台地域の事業所として、地域とのつながりを大切に、コミュニティづくりの一翼を担うことができればと思っています。

(ぺんたす・高橋)

登録ヘルパーより



(加藤 直美さん)

昨年の11月に「ぺんたす」の門を叩き、あっという間に一年を迎えます。ヘルパーの職に就いて嬉しく思う時があります。1つ目は利用者さんに私を覚えてもらえ、受け入れていただけたと感じた時です。何がきっかけかはそれぞれですが、ヘルプをしていると「あっ！覚えて下さった♪」と思う瞬間があります。グッと距離が縮まり、信頼関係も生まれてくるので、利用者さんの笑顔などを見ることができて嬉しいです。

2つ目は移動支援の時に会う人々の「優しさ」に触れた時です。エレベーターの乗降時や、お店での店員さんとのやり取り時などで感じます。仙台の人は優しいです！こちらが「ありがとう。」と伝えると笑顔が返ってくるので、自然と利用者さんも私も笑顔になります。

ヘルパーを始めて日は浅いですが、利用者さんやご家族の皆さんに支えていただき、色々な場面でたくさんの笑顔に触れる事ができ、楽しく充実した日々を送らせていただいています。感謝の毎日です。

介護人より (レスパイトサービス有償ボランティア)



(渡邊 海帆さん)

私が介護人を始めたきっかけは、東北福祉大学の「そら」というボランティアサークルに入っていたことです。そこで、すてっぷ・はうす、だいち、すきっぷの利用者さんたちと触れ合い、将来のためにもっと障がいのある方と関わる機会を増やしたいと思い、介護人になりました。

介護人を始めて2年半になりますが、未だわからないことは多く、日々学びがあります。例えば、介護人を始めた当初、車椅子を使う利用者さんと買い物に行く際に、ついつい車椅子を押してしまうことがありました。その時、一緒にいた職員の方に車椅子を押すことが必ずしもその方のためにならないこと、その方の筋力が衰えないようにと考えれば車椅子を押さない選択肢もあることを教わりました。もちろん利用者さんによっては車椅子を押すことがベストな選択ともなるでしょう。利用者さんとの関わりを通してどのような支援や配慮をすべきか見極め、判断することが大切であると考えます。

来春からは就職のため、すてっぷ・はうすを離れることにはなりますが、ここで学んだことを次の仕事で生かしていきたいと思えます。

- 直美さんは資格を取得してすぐに「ぺんたす」のヘルパー登録をしてくれました。とても勉強熱心でスキルアップをしながら大活躍をいただいています。
- 海帆さんは大学のサークルの代表を務めながら介護人として活躍してくれました。優しさ溢れる青年です。きっと素敵な社会人になることでしょう。応援しています☆

社会福祉法人「つどいの家」後援会 入会ご案内

社会福祉法人つどいの家では、「どんなに重いしょうがいがある人も、地域で差別されることなく、いきいきと自立した生活ができるよう、自己実現の場を保障し支援する」ことを基本理念として事業を行っております。

後援会では、重いしょうがいがある方を支援するために、社会福祉法人つどいの家へ資金を寄付して法人の事業を支援しています。また、後援会だよりの発行、総会の開催、一般市民向けの講演会の開催などを行っています。

どうか活動にご賛同いただきご加入くださいますようお願い申し上げます。
入会、お問い合わせ等はお気軽に「ぴぼっと南光台」までご連絡ください。



- ・法人（団体）会員 年間一口 10,000 円
- ・賛助会員 年間一口 500 円 ※議決権無
- ・協力会員（募金箱設置やポスティング等の協力）※議決権無
- ・一般会員 年間一口 3,000 円

●登録ヘルパー募集

ホームヘルプサービス事業「ぺんたす」では利用者宅に伺い身体介護（入浴介助など）、家事援助（料理・掃除など）や通院に同行したり、利用者と一緒に外出したりするヘルパーさんを募集しています。

★日中（8：00～18：00）時給 1,100 円

★ホームヘルパー1、2級、介護福祉士、看護師、介護職員初任者研修を修了した方



●ボランティア募集（有償）

利用者さんと一緒に過ごしてくれるボランティアさんを募集しています！必要に応じて、排泄や食事の介助をしていただきます。

★日中 1時間 900 円、宿泊 7,400 円

★資格は問いません



地域の皆様へ

サロンスペースの貸館

を行っています。

平日9時から17時の間でサロンスペースをご利用いただけます。サークル活動、お茶飲み会、会議、勉強会などお気軽にご利用ください。使用料は半日500円、全日1,000円です。スクリーンの貸し出しもございます。
※土日のご利用を希望される場合にはご相談下さい。



編集後記 この度の台風、並びに大雨被害にあわれた方々へお見舞いを申し上げます。

11月は20度を超す気温でのスタートでしたが、季節は進み、冷え込みが厳しくなってきました。防寒対策や感染予防をしっかりと、楽しいクリスマスを迎えましょう♪

事務 山口